

# Teyl-JAPAN

ジュニア英語 プロ教師養成講座

---

販売

株式会社 エドバック

TEL: 045-226-5494

FAX: 045-226-5495

E-mail: [info@teyhj.org](mailto:info@teyhj.org)

TEYL - JAPAN

# Teyl-JAPAN

## ジュニア英語 プロ教師養成 e-learning コース概要

### ● 概要

名称	Teyl-JAPAN(Teaching English to Young Learners) ジュニア英語 プロ教師養成講座			
対象	6 歳～15 歳（小学校低学年から中学生）を担当する指導者、また児童英語教師を目指す方、興味をお持ちの方 学歴（教員免許資格）や英語力は問いません。			
コース内容	モジュール	セクション	目的	
	イントロダクション	1 ～ 4	本コースの使い方と提供される教材について学びます。	
	1. 子どもの特徴	1 ～ 10	教育理論 子どもの発達心理学・脳生理学・教育心理学などの教師として必要な理論を学習し、子どもに対する理解をより深めていきます。	
	2. 言語と学習	1 ～ 5		
	3. 教室運営	1 ～ 4		
	4. 役立つ指導技術	1 ～ 12	指導テクニック	生徒を惹き付ける為の様々な授業テクニックや最新実践例を学習し、授業にすぐ役立つ様々なアイテムやツール紹介、またリソースなどの検索の仕方や情報収集をバックアップします。
	5. 教案・教材・教具	1 ～ 4		
	6. さらなる研究	1 ～ 4	指導参考情報	
認定証 Option1	Task 1 ～ 3	ポートフォリオ	このコースで学習してきたことに対して十分に力が備わっているかを確認します。	
Option2	Step 1 ～ 4	研究レポート		
学習時間	60 時間（最短 2 週間、平均 3 ヶ月～ 6 ヶ月）			
費用	オンラインコース ￥84,000（税込、教材費なし） J-SHINE 資格申請には別途¥6,000-がかかります。			
教材	なし 教材は全てインターネットでアクセスするシステム			
学習方法	オンライン			
開始時期	いつからでも開始可能（HP より申込 <a href="http://www.teyl-j.org">http://www.teyl-j.org</a> ）			
学習期限	最長 1 年まで			
学習場所	インターネットが使用できる場所なら世界中どこでも可能			
評価	課題（3つの課題、15の大きなタスク、3つの小さなタスク、17の大きなリーディング課題、その他小さなリーディング課題やタスク、確認テスト、卒業認定テストなど）			
個人チューター	10年以上の子ども英語指導経験者			

## コースの特徴

- ・ 自分の意見・考えを提出するなどバラエティーに富んだタスク。
- ・ 個人チューターが受講開始から修了まで強力的にサポート。
  - 青山学院大学との共同研究でチュータリング（学習支援方法）の技術を学んだ指導経験豊富な専属チューターがあなたを最後まで導きます。
- ・ コースはいつでも開始可。24 時間自分のペースで学習でき、インターネットアクセスがあれば、どのコンピュータでも学習ができる。また、eラーニングシステムにより、期間中は何度でも復習が可能なので、確実に力をつけることができる。
- ・ オンライン受講のメリットとして「常に最新の情報」を手に入れる事ができる。
- ・ コース受講者は、ジュニア英語に関するアイディアの宝庫である「ウェブサイトリソースガイド」「用語辞典」等にアクセスできる。
- ・ 受講修了後、認定証を発行。
  - Teyl-JAPAN は、英語指導者養成のための国際資格です。
  - 認定証はカナダより発行されます。

## ● コース目的

- ・ 正しく子どもに英語を指導できるスキルを身に付ける。
- ・ 子どもの様々な段階における身体的、精神的、知的レベルを知る。
- ・ 教室における子どもとの関わり方を学ぶ。
- ・ 子どもへの英語指導において効果のある教授法を知る。
- ・ 英語学習における効果的な教室環境作りを学ぶ。
- ・ 子どもの行動への正しい対処の仕方を学ぶ。
- ・ 教授法に関する簡単で効果的な情報収集の仕方を学ぶ。
- ・ フラッシュカード、物語、音楽、劇、クラフト、ゲーム、プロジェクトやペアワークを使った正しい指導法を学ぶ。
- ・ 教務キャリアを更に発展させ、プロ意識を向上させる。

## ● コース内容

<b>イントロダクション</b>	Course Introduction Section 1 あなたはジュニア英語教育に向いているのか？ Section 2 子どもへの英語教育とその科学 Section 3 本コースの学習支援 Section 4 オンライン情報の利用と学習のコツ
<b>モジュール 1</b> The Characteristics of a Young Learner. 子どもの特徴	Introduction Section 1 若年学習者の定義 Section 2 第一言語の発達 Section 3 第二言語(L2)を習得する Section 4 子どもとコミュニケーションを確立するスキル Section 5 精神発達とモチベーションの役割 Section 6 子どもの社会的発達 Section 7 子どもの知能発達 Section 8 子どもの身体的発育 Section 9 文化的考慮と教師の姿勢 Section 10 子どもとの交流法と教育哲学 Test 1 確認テストと課題 1
<b>モジュール 2</b> Language and Learning 言語と学習	Introduction Section 1 言語と言語習得 Section 2 第二言語の習得 Section 3 文法—鬼か仏か— Section 4 英語の発音 Section 5 4技能 Test 2 確認テストと課題 2
<b>モジュール 3</b> Classroom Management 教室運営	Introduction Section 1 良い教師とは？ Section 2 子どもの行動管理 Section 3 教室の雰囲気作り Section 4 教室の安全管理 Test 3 確認テスト
<b>モジュール 4</b> Instructive Strategy 役立つ指導技術	Introduction Section 1 ジェスチャーとフラッシュカードを使う Section 2 ゲームを使う Section 3 音楽、歌やチャンツを使う Section 4 ダンスや動作を取り入れる Section 5 ダイアログや、劇、詩を取り入れる Section 6 お話し会を取り入れる Section 7 工作や作業を取り入れる Section 8 プロジェクト作業 Section 9 教室でのコンピュータなどの取り入れ方 Section 10 ペアワークとグループワーク Section 11 発音指導 Section 12 誤り訂正 Test 4 確認テスト
<b>モジュール 5</b> Resource Management 教案・教材・教具	Introduction Section 1 自由な教案作成 Section 2 アイディアの入手先 Section 3 教材・教具の保存整理 Section 4 教材選択 Test 5 確認テストと課題 3
<b>モジュール 6</b> Professional Development さらなる研究	Introduction Section 1 環境に適應する Section 2 ティームティーチング Section 3 テストと評価 Section 4 継続的学習のために Test 6 確認テスト
<b>認定証モジュール</b> Certification	卒業認定テスト合格者は修了証明書の取得 Option 1 , Option 2

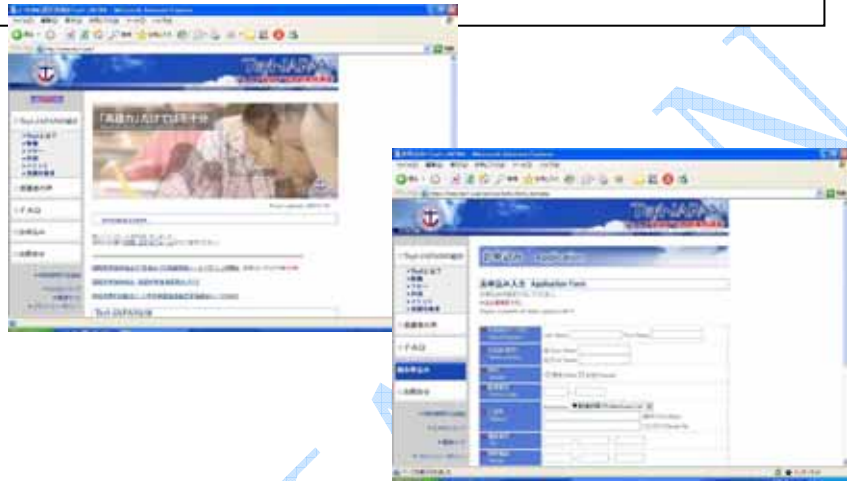
各モジュールの最終段階で「確認テスト」を行います。



## Teyl-JAPAN 申込 ~ 資格取得までの流れ

この講座は Teyl-JAPAN ホームページの「お申込み」フォームからお申込みいただけます。

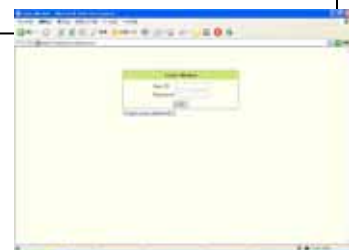
ホームページのお申込みフォームより必要事項をご記入、お申込みいただきます。



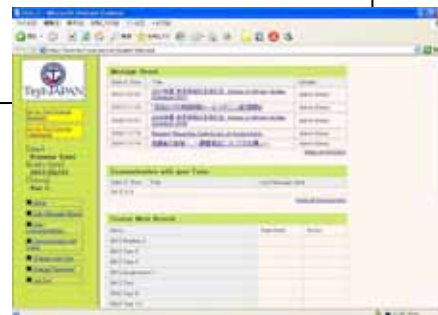
お申込み後、申込受付（確認）のメールがお手元に届きますので、記載内容に間違いがないかをご確認ください。確認後、お申込日から2週間以内に、メールに記載の指定口座に受講料をお振込みください。

（ご入金方法は、銀行振込・コンビニ振込が選択できます。）

ご入金確認後、1週間以内に受講者にIDとパスワードが発行されます。同時に、専属のTutorが決定し、そのTutorからTeyl-JAPANホームページのログイン画面を通して連絡がきます。ここからジュニア英語 プロ教師養成講座がスタートします。



Teyl - JAPANホームページのログイン画面に、発行されたIDとパスワードを入力、いよいよ受講開始です。ログインが完了すると、受講者のマイページが表示されます。マイページには専属Tutorとのやりとりや、コース受講の記録が表示されますので、受講者自身が今どのモジュールまで進んでいるか、どの課題まで提出できているか等を確認することができます。



本コースをスタートする前に、まず日本語受講または英語受講のどちらかを決めていただきます。決定後、いよいよ本コースに入ります。コースでは理論面と実践面をバランスよく学習し、チャンツやゲームなどは動画を交えて学習します。学習した内容についての課題やタスクは、Tutorに提出します。Tutorには、コース受講中に疑問に感じた点や不明点、何でも相談することができます。



認定モジュールでの課題提出までできたら、Teyl - JAPANのコースは修了です。最後にカナダから修了証が届きます。



( J - SHINE への資格申請については次ページ以降をご参照ください。)

# J-SHINE手続きについて



国際教育振興協会

## 国際教育振興協会 英語教育推進委員会

関係者各位  
プレスリリース

2007年3月吉日

英語教師養成 e-learning システム  
Teyl (Teaching English to Young Learners)  
2007年2月1日  
J-Shine 正式認定



特定非営利活動法人 国際教育振興協会 (S.A.I.E) 英語教育推進委員会 が英語教師養成の為に特別に制作した e-learning program、『Teyl-JAPAN 』は、2007年2月1日に小学校英語指導者認定協議会の指導者養成講座として認証されました。

「総合的な学習の時間」で国際理解・英語活動が取り入れられて以降、全国の小学校で英語活動が推進・導入され、その一方、現場の多くの先生方にとっては、英語指導法やカリキュラムについての課題が山積みとなっているのが現状です。当委員会では、現職の教師でスキルアップを目指す方々やこれから教師を目指す指導経験のない方まで、真の指導者になって頂けるよう、国際標準の指導プログラムと独自の Tutor (個人講師) 制度を持つ Teyl プログラムを制作しました。また、オンラインの利点を生かし、全国の教師の方々、また全世界の教師を目指す方々が同じプログラムを受講することを可能にし、最新の情報を常に入手出来る環境を提供することを実現しました。



### 【商品概要】

1. 名称: Teyl (Teaching English to Young Learners)
2. コース内容と特徴:  
教育理論・指導テクニックを中心に6つのモジュールから構成され、子どもの発達心理学・教育心理学等を含む内容を学習します。また、英語教育のプロが各受講者の専属の Tutor となり、資格取得までサポートします。
3. 対象: 6歳～15歳を担当する英語指導者
4. 学習時間: 60時間(最短2週間、平均3ヶ月～6ヶ月)
5. 学習方法: On-line(セミナー除く)
6. 学習場所: インターネット接続可能な場所  
(世界中どこでも可能)
7. 費用: オンラインコース ¥84,000(税込)
8. 資格: 国際資格としてカナダより認定証が発行される。



## J-SHINE 認定 小学校英語指導者資格とは

J-SHINE 認定 小学校英語指導者資格 とは、NPO 法人 小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）によって、小学校で英語活動・英語教育を行う上で、必要な知識と技能を有し、児童英語教育指導者として十分な能力を有していることを証明する民間の資格です。通常、小学校の教壇に立つには、小学校教員資格を保持していることが条件ですが、これまでは、いわゆるゆとり教育の一環として「総合的な学習の時間」が導入され、その時間に行われる「国際理解教育の一環としての外国語会話等」の中の英語教育にあたる講師は、小学校教員に限定されず、ALT や民間の指導者、及び地域人材を登用しており、小学校での英語必修化が決定した今も同じ状況が続いています。教員免許を持たない民間の人材が小学校で英語を指導するという機会が増えている現在、全国規模で一定の基準で認定を行う J-SHINE 資格は、教育委員会・小学校の中で、また、教育業界全体を通し、信頼度・認知度が高まっています。今後、2011年からの「小学校段階における外国語活動」の実施に向け、ますます評価され需要が高まることが予想されます。

資格認定には、J-SHINE から「児童英語指導者育成に適している」と認められた登録団体の指定講座を修了し、その団体から推薦を受ける必要があります。団体登録には、J-SHINE から各団体に提示された共通カリキュラムに沿って指導者用教材・指導法などが厳しく審査され、決められた基準を満たした団体のみが「登録団体」として認定されています。研修講座の時間数、期間、受講料などは団体によって異なります。「小学校英語教師免許」という国家資格が存在しない現状ですが、それでも小学校では英語を教える技能をもった人材を雇用する必要があります。その際の大きな選定・判断基準として、J-SHINE は重要な役割を果たしています。

### 【重要なお知らせ】

小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の決定による措置として、2008年4月1日以降の J-SHINE 資格申請では、資格認定基準が変更となりました。これまで「小学校英語指導者資格」の1種類であった J-SHINE 資格は、以下ようになります。

小学校英語準認定指導者資格	Teyl-JAPAN 資格取得者は J-SHINE 準認定資格に申請可能
小学校英語指導者資格	50時間以上の英語指導経験がある場合は小学校英語指導者資格に申請可能。なお、準認定資格を先に取得している場合は、50時間の幼児・児童を対象とした英語指導経験を積んだ後、準認定資格を資格変更申請することで小学校英語指導者資格に書き換えることが可能。



## Teyl-JAPAN 受講

児童英語教師を目指す際には、「英語力」だけでなく「指導力」を実につけることが不可欠です。Teyl-JAPAN ではその両方を兼ね備えた教師を養成します。資格取得には、期間内にある一定の評価で修了することが第一の条件となります。

ある一定の評価とは・・・

- 1) 全てのタスク・課題を提出する
- 2) 全てのテストを受ける
- 3) 6つの学習モジュールにおいて60点以上を取得する
- 4) 認定モジュールにおいて60点以上を取得する

受講期間の延長が必要な場合は、1回のみ6ヶ月間（税込 30,000円）が可能です。なお、その申請は受講期間内のみ受付いたします。

他の資格コースでは、ほとんどの場合、コース修了後、対面研修及びスクーリングの受講を必要とされますが、Teyl-JAPAN ではオンラインコース受講のみで J-SHINE 資格申請の推薦を受けることが出来ます。Teyl-JAPAN のコースでは、子供の発達に関する教育理論をはじめ、指導技術・テクニック、教案・教具作成に至るまで、すべての内容を網羅しております。そのカリキュラムがあつてこそ、対面研修を必要としない新しい児童英語教師認定を実現できるのです。



## 資格取得～J-SHINE 申請までの流れ

講座修了後、J-SHINE へ提出する願書を記入し、審査料6,000円を当団体へお振込みいただきます。必要書類は、写真2枚とお振込みを証明するもの（明細などコピーも可）を同封し当団体へご提出ください。お送りいただいた書類と Teyl-JAPAN コースの評価を基に推薦書を作成し、願書・推薦書をもって J-SHINE へ申請します。なお、推薦期間はコース修了時から2年未満とし、2年を経過した時点で期間は終了しますので、ご注意ください。また万が一、J-SHINE による審査の結果、不合格となった場合は、審査料としてご入金いただいた6,000円の返金は致しかねますので、予めご了承ください。「小学校英語準認定指導者資格」の申請も「小学校英語指導者資格」の申請も、同様の書類が必要となりますが、「小学校英語指導者資格」の申請のみ、幼児・児童を対象とした50時間以上の英語指導経験がある旨を記載した「50時間指導経験申告書」を添付する必要があります。



## J-SHINE による審査と結果通知

J-SHINE に前述した書類が提出された時点で、審査が開始されます。小学校英語指導者認定は検定ではありませんので、審査は書類のみで行われ、試験等は一切ありません。なお、審査結果は通常2ヶ月程度で回答となります。

審査の後、合格の際にはその結果が申請者の元へ郵送されます。その際には以下のものが同封されます。

同封書類・・・

- ・「小学校英語指導者認定証明書」
- ・IDカード
- ・J-SHINE ホームページ掲載情報に関するアンケート用紙

また、残念ながら不合格となった場合、申請者本人と推薦団体にその結果が郵送されます。その際には再度申請料をお支払いいただき、再申請及び再審査が可能です。



## 資格取得後から採用までの流れ

資格取得後、合格通知に同封されたアンケートに回答・返信することで、それが一般に公開される情報となります。アンケート提出から約1ヶ月の後、J-SHINE ホームページにある講師情報にプロフィールが掲載されます。各市町村の教育委員会や小学校、団体等の担当者は、その掲載情報をもとに講師の選出を行います。学校側で必要としている条件（住所や年齢、得意な指導法等）を満たし、直接会ってみたい、面接をしたい、という場合には、J-SHINE 及び推薦団体にその指導者の紹介依頼がきますので、その時点で初めて直接指導者と学校側で面接等が行われます。なお、その際は、直接学校側から連絡が来るのではなく J-SHINE 及び推薦団体が指導者に連絡を取るかたちとなります。

各市町村の教育委員会では、それぞれのホームページ上で小学校英語指導が可能な人材を募集している場合があります。J-SHINE ホームページに掲載されることによって、確実に、絶対に、小学校で英語が指導できるとは限りません。直接教育委員会や小学校に働きかけることで最終的に雇用されるというケースもあります。就職活動やアルバイトの採用と同様に、積極的に自分をアピールすることも、採用への大きな一歩となるでしょう。

